



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／山岸邦太郎
- 副会長／濱 毅・守屋麻里
- 幹事／笠原新太郎
- R 情報(会報)委員長／小口国之

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例 会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2950 回例会 2021 年（令和 3 年）11 月 9 日(火)

点 鐘：山岸邦太郎 司 会：今井康善

斉 唱：君が代、奉仕の理想、四つのテスト

ラッキーNo：NO. 20 高木克彦

ビ ジ タ ー：国際ロータリー第 2600 地区副幹事 勅使川原 一幸様

皆 勤 祝：平沢清文 37 年、山崎典夫 16 年、梅垣和彦 14 年、林 尚孝 14 年

誕 生 祝：高木昭好、竹村一幸、宮坂宥洪

守屋麻里、杉村邦彦



誕生祝

* 第 2600 地区桑澤一郎ガバナー訪問 *

会長挨拶

本日はガバナー公式訪問例会です。挨拶の前に本日のお客様をご紹介します。
R I 第 2600 地区 桑澤一郎ガバナー様と地区副幹事 勅使河原一幸様です。
後ほど卓話をお願いいたします。

桑澤ガバナー様には、8 月に発生しました岡谷川岸地区での土石流災害に際しまして、地区より災害支援金をいただきまして、誠にありがとうございました。

さて、今月はロータリー財団月間です。

ロータリー財団の使命は、「ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。そして、地元の奉仕プロジェクトや、ポリオ撲滅、平和の推進といった取組まで、様々な人道的活動への資金援助を行っています。

本年度、当クラブでは、ロータリー奉仕デー開催と同時にこの制度を利用して、昨年引き続き、「地域の文化財を活かし、香り高い文化のまちづくりに寄付する事業」を 9 月 18 日（土）に行いました。当日は新型コロナウイルス感染警戒レベルが高かった為、会長、幹事、財団委員長の役員のみでの参加で、ボーイスカウト、ガールスカウトの子供達も不参加の少人数で贈呈式のみ行いました。内容は前に話した通りですが、イルフ童画館にデジタルサイネージ 1 台、ビデオカメラ一式、車椅子 2 台を寄贈させていただきました。

この活動は地区補助金を有効活用させていただき、より高いレベルの活動ができま

す。また財団委員長より、ご寄付のお願いが近々あると思いますが、このような財団の活動に理解をいただき、多くのメンバーのご寄付をお願いいたします。

本日も、よろしくお願いいいたします。

幹事報告

- 次週11/16(火)はボーイスカウト・ガールスカウト助成金贈呈式です。
- 11月のRレートは 1\$ = 114円です。

委員会報告

親睦委員会 12月14日(火)は、親睦家族忘年会です。17時半受付、18時点鐘です。会場はメモリーです。今回は歌手でタレントの松山三四六さんのディナーショーを予定しております。感染対策といたしまして、受付でのアルコール消毒、検温、個々の料理、アクリル板設置などを施しておりますので安心してご参加ください。豪華な景品もご用意いたします。よろしくお願いいいたします。

R財団委員会 会長からもお話しありましたが、11月はR財団月間です。皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いいいたします。



国際ロータリー第2600地 ガバナー 桑澤 一郎 様

今年度、2600地区ガバナーを務めております、茅野RCの桑澤でございます。本日はよろしくお願いいいたします。

何より今日嬉しかったのは、観光荘さんの鰻が食べられると言うことで、副幹事と思わずいい時に来たところと話したところです。

私は既に3分の2くらいのクラブを訪問させていただきましたが、地元クラブが一番緊張いたします。特に宮坂パストガバナーはじめ伝統あるクラブですので、余計緊張いたしますが、ガバナーの努めでありますのでお話しさせていただきます。

今年度は、コロナに始まりコロナに終わる気もしますが、毎年アメリカへ10日間ほど行って研修を受ける国際協議会もバーチャルで行われました。地区協議会もオンラインでやらせていただきました。あまり皆さんの前で顔を出ささせていただく事はなく、せめて地区協議会くらいは皆さんの前で話しさせていただきます、会長幹事さんとも直接お会いしたかったのですが、それができませんでしたので、私の年度でお伝えしたいことが非常に希薄になってしまう事が懸念されます。もちろんオンラインでも意外とうまくいってる部分があります。実はコロナのお陰で外に出かけなくなり、パソコンの前にいる時間が長くなり、ホームページを作ってみようかなと思い、初めて自分でホームページを作ってみました。これが意外と楽しくて、ああやるんだ、こうやるんだとわくわくしながら作成いたしました。そしてポータルサイトを作り、これを核に私の年度は、色々な行事や方針の伝達をしようということで作成いたしました。私の話だけでなく、RI会長の話も載せてあります。

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」非常に分かりやすい標語だと思います。また重点項目も非常に明解です。

①130万人に会員を増やしたいという事です。現在年度の始まりで約120万人

ですので、メータR I会長の年度であと10万人増やしたいという目標を掲げられています。非常に大きな目標です。ここ十数年ロータリーは120万人を維持しています。先進国は減っていますが新興国は伸びているので、ちょうどいいのですが、これをいつまでも続けてはダメなので、この年度で130万人にしたいというメッセージを発信しています。

②全世界で「ロータリー奉仕デー」を開催してくださいという事です。これは岡谷クラブさんも計画されているようですが、既に多くのクラブで実施されています。これは今年度の要となる事業として発展していると思います。つまり、ロータリー奉仕デーは昨年までやっていたロータリーデーとは全く種子の違うものです。ロータリーデーというのは、ロータリーの事を世間の人たちに知ってもらおうという目的で開催されています。ロータリー奉仕デーは、あくまで奉仕プロジェクトなので奉仕活動を行ってください。それとルールがあります。2つ以上のクラブが合同でプロジェクトを行い、参加者の25%以上は一般の方を入れてください。これが、実施プロジェクトのルールです。ひとつのクラブでは小規模でも、ふたつのクラブが集まれば倍のプロジェクトになります。なおかつ、公共イメージが叫ばれている中で、参加者を増やしロータリーの活動を実際に体験してもらおう事も目的としています。実施されたクラブからも、非常に反響が良かったと感想をいただいています。今までクラブ単独でされている事が多く、隣のクラブの様子が分からないが、一緒にやってみたらこんな感じだという事がよく分かった、真似をしたいなどという感想をいただいて、とても良いきっかけを作ってもらったなと思っております。

③あと一つは、女子のエンパワメント（能力向上）に取り組むという事です。最近色々なテレビなどでこの言葉が使われるようになってきています。女子のエンパワメントという言葉ですが、メータ会長のお膝元のインドとか、まだ発展途上にある周辺国、特にイスラム圏に於いては、女子が非常に虐げられた世の中にあります。人身売買だとか教育の機会が全く与えられない、そういったものをロータリーで改善に取り組んでいただきたいという願いがあります。日本の場合は少し状況が違います。女子だけが虐げられるような事は日本ではありませんが、女性全体を捉えた時に女性の地位の低さや社会感覚がまだまだ思うようにっていないという点が、先進国の中でも日本が一番最低だと言われております。これについては日本のガバナーが全員一致で、女性のエンパワメントという言葉に置き換えて取り組んでいくことになりました。

私の標語は「繋がりを保ち、交流と奉仕を充実させよう」ですが、先ほども申し上げたように、私の年度はコロナに始まりコロナに終わりそうですので、とにかく繋がりを保っていただきたいのです。これは奉仕活動を通じた交流を含めて、例会とか色々な場面でロータリアン同士の繋がり、社会との繋がりを保っていただきたいという事です。交流ももちろん充実させたいです。

重点項目としては①**繋がりの強化**。これはロータリアン同士、ロータリーファミリー、そして社会との繋がりという事です。今まで当たり前のようにやっていた事ができなくなっています。これをいききっかけに、もう一度見直していただいて大事にしていきたいと思っております。

②**女性会員の増強と役割の重要性**。これはメータ会長の方針を受けた女性が抱える社会問題に取り組んでいきたいという事です。そのためには、先ず女性会員をロー

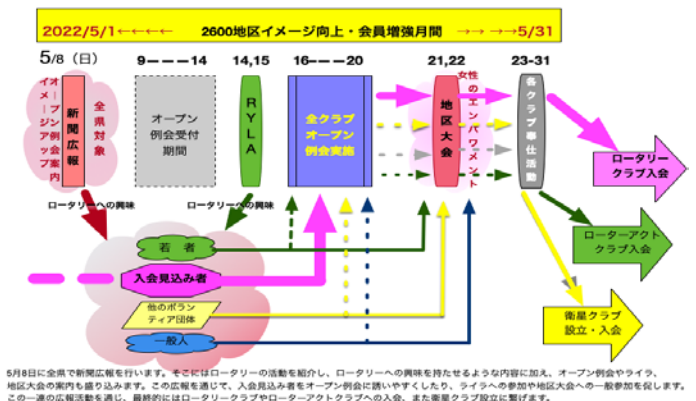
タリーに入れていただきたいのです。岡谷クラブにも現在1名の女性会員がおられますが、もっと増やしていただきたい、女性会員の方がリーダーとなって、女性が抱える社会問題への取り組みを実施していただきたいと思います。

③積極的な広報活動とビジュアルアイデンティティの強化。広報活動をやろうと言う事が叫ばれてもう長いのですが、なかなかうまくいっていないように思います。私の方でのひとつの方法としてビジュアルアイデンティティの強化をお願いしています。ビジュアルアイデンティティとは、見た目の特徴付けのことです。一目見てロータリアンと分かるような格好や佇まいというものを意識していただきたいのです。一番簡単な方法は、常にバッジを付けていただく事です。また奉仕活動をする時にはお揃いのジャンパーやTシャツを着ていただき、今までロータリーはあまりそういう事をひけらかす事を良しとしない集団でありましたが、今はそんな時代ではないので、私たちが奉仕活動をしていることを積極的に外にアピールする事により、その人たちの賛同を巻き込んでいく方向に転換をしていくが大事であります。ご理解をお願いいたします。ポータルサイトには自分なりに色々足してありますので、ご興味のある方は是非ご覧になってみてください。

地区の職業奉仕セミナーが今月28日(日)に、ホテル紅やで開催されます。昨年に引続き阿部知事をお呼びし、金子市長、東御市長、川上村村長、地区職業奉仕委員長と私でパネルディスカッションを行います。オンラインと対面のハイブリッド形式で開催する予定です。今現在、オンラインの方が多く対面の方が少なく、躊躇されてる方もいるかと思いますが、十分間隔を取っていますし、せっかく阿部知事も来てくださるので、是非リアルでのご参加もご協力をお願いいたします。私もなにを言えばよいか分かりませんが、信州のためにロータリアンが何ができるかという事を、ディスカッションを通じて皆さんと考えたいと思います。

オープン例会についてですが、機会があれば開催して欲しいと提案させていただいております。これは会員増強の一環と公共イメージの向上のためにあります。例会に一般の方をお招きする事で優先順位はありませんが、会員としてこれから入会していただきたい方に気軽に来ていただき、例会の様子を説明したり、お食事を良くしたりなどの工夫をしながら、会員増強に繋げていただきたいと思います。他クラブのオープン例会の様子もホームページに出しておりますので、参考にさせていただきながら、ご自分たちで企画してやっていただきたいと思います。

イメージ向上・会員増強キャンペーンを計画しております。これは10月に計画しておりましたがコロナの影響で延びてしまいました。地区大会も5月に延期になっております。この1ヶ月間をイメージ向上・会員増強月間とさせていただき、5月8日に新聞広告を全面で信毎に出します。花火も打ち上げます。その間にオープン例会の募集などしていただき、RYLAが14日15日にあります。こちらも松本空港RCさんで非常に大きなイベントを計画をされています。5人の講師をお招きして地区大会に匹敵するくらいの計画をされています。是非ご参加ください。



そしてオープン例会を実施しながら21日22日で地区大会を行います。ロータリーの事を話題にする形で仕掛けを作り、最終的にはロータリークラブへの入会などに持っていければと思います。詳細はこれから詰めていきますが、皆様のご協力をお願いいたします。

今世の中はコロナをきっかけとしてデジタル化が問沙汰されており、ロータリーもできるだけ省力化を図っていく、つまり会長さん、幹事さん、事務局さん、委員長さん達の手間を少しでも軽減していこうという事です。ロータリーはお金儲けの集団ではありませんので、企業のやるデジタル化は収益の改善化などに繋げる事が多いのですが、ロータリーは目的が少し違ってきます。省力化です。デジタル化は最終的には個人のメリットになります。スマホひとつあればより楽しく充実した人生を送ることができます。今はSNSなどで会えなくても、人との繋がりが確保される、これは充実した人生のひとつの方法であるのです。どうやってやるかという、皆さん色々な形でデジタル化が進んでいると思いますが、効率よくやるために何が必要か、クラブのデジタル化がクラブにとっては必要です。私なりに思ったことを書いてあります。事務局とご相談の上進めていっていただけると楽になります。地区のデジタル化も、私が音頭を取ってどんどん進めています。いろいろな事が省力化され、けっこう進んでいます。もちろん例会は会わなければ意味ないので対面が原則です。一方通行の話を聞いて帰るだけのセミナーは、オンラインにしてしまった方がいいと思います。地区協議会は否応なしにオンラインでした。地区協議会は毎年500人のメンバーが、松本大学を借り切って集まります。場所を調べて県内から500人の人が移動します。ですが地区協議会は基本的に一方通行のミーティングです。壇上に上がった人を中心に、次年度の方針を伝えていく会議です。皆さんは、集まるのですが座って遠くのモニター映像を見ながら研修をやり、終わるとまたバスに乗って帰ります。もちろんそこで他クラブの方と顔を合わせる事も大事ですが、あまりにも効率が悪いという見方もあります。会場を運営するのにも毎年300万円くらいかかります。今まで対話もなかったのですが、今年オンラインでやってみて、充分伝わると感じました。それと、会場費も全くかかりません。今回のオンライン会開催のコストはほぼ20万円で済みました。更に、バスを手配したりなどのクラブの負担もかなり軽減されます。これは全国的な流れになりつつありますが、地区協議会は対面ではなくオンラインの方向にしていき、その節約した300万円は、奉仕活動に充てたり他の事業に投資する事ができます。あるいはクラブから地区への負担金を下げていく事もできます。そういった部分で効率化を図っていきたいと考えます。来年の地区協議会もオンライン化が決まっております。時代の流れの中で、良いところだけを取り込んでいって、ロータリーが益々発展化していくように、上手く使っていきたいと思います。

最後になりますが、SRF（ロータリーの未来形成）について、先日の会長幹事会でお伝えいたしました。国際ロータリーの組織替えの話です。これが今、賛成、反対の議論になりつつあるのですが、概要だけ言いますと非常に難しい話で、資料は色々出てきますが私なりに勉強して分かったことは、目的は分からないが目標が明解になっているという事です。目標は5つあります。「参加者やクラブのニーズを元に有意義かつ実行可能な役職を設ける」「参加者やクラブに対して効率かつ効果的に開示を提供する」クラブのサポート体制をより強化していくという事です。

「ロータリーの戦略的取組みと目標をサポートする」ロータリーが取り組んでいるものを維持可能にしていくという事です。1番の目的は5番の「組織をスリム化して効果的なガバナーを実現する」国際ロータリーの組織は非常に肥大化しています。色んなプロジェクトがありますので色々な事業部があるのは仕方ないのですが、統制が取れなくなってしまう、これはロータリーの良い所でもあり欠点でもあります。国際会長もガバナーも毎年変わります。ガバナーとしての統制が取れるようスリム化していくという事であります。

組織替えしてスリム化して効率的にやっていく事とクラブのサポート体制を強化する。この二つが大きな目的としてやっていくと思います。これは一概に反対をするものではないと思います。スリム化していくのは当たり前ですし、クラブのサポート体制を強化するのもとても良い事です。ただ問題なのは、2600地区に置き換えた場合、2600地区が無くなってしまいます。二つに分かれます。今地区ガバナーが全世界に524人います。日本には34人のガバナーがいます。これがスリム化されることにより地域リーダーと名前が変わり、組織もかなりスリムになります。ガバナーについては、今私は54クラブの面倒を見ていますが、これが多すぎるという訳です。ガバナーが面倒を見るクラブは30~40くらいにするという事です。長野県は54クラブありますから二つに割って27クラブずつになります。これでOKが出ても二つに分かれます。そして地区はセクションに置き換わるためガバナーもセクションリーダーに変わります。面倒を見るのも30クラブ位になるので楽になり、よりサポート強化しやすくなります。これは世界的な価値観でお話しさせていただいてるので、日本には中々通用しない話でもあります。日本は県がひとつの区分になりますので県を分けるような事はして欲しくないという思いも皆さんにもあると思います。しかし日本の理屈だけで通用するかというとそうでもないので、せめて条件付きでお願いするのが現実的かなと思います。県を跨ぐセクションはやめてもらいたい。つまり3クラブ足りないから隣の県から3クラブもらおうというような事はやめていただきたいというひとつの条件です。それと長野県が二つのセクションに分かれても地区事務所は合同でひとつにしても良いかという事と地区大会も合同で実施して良いかという事です。色々な事を工夫して、今をあまり変えずにやっていけるような方向になれば、このSRFは必ずしも悪い事ではないと考えます。これについては、宮坂パストガバナーに意見をまとめていただければと思いますが、会長さんにもアンケートが出てますので地区へご意見いただければと思います。是非勉強してみてください。以上で私の話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

2021-22年度

国際ロータリー第2600地区

桑澤一郎 ガバナー

繋がりを保ち、
交流と奉仕を充実させよう





ニコニコボックス

宮坂宥洪 昨日はロータリー財団委員長として佐久コスモスRCに招かれて卓話をしてきました。今月はロータリー財団月間です。

濱 俊弘 8月創業月でした。よろしくお願ひします。

林 裕彦 創業記念日11月3日でした。これからも頑張ります。

山崎典夫 創業月です。今後もよろしくお願ひいたします。

薩摩 建 おかげ様で創業73年となりました。これからもよろしくお願ひいたします。

今井康善・牛山幸一・梅垣和彦・江黒寛文・大滝祐吉・小口国之・小口 隆・小口智之・小口裕司・尾関秀雄・笠原新太郎・片倉克昭・上條英雄・北澤洋之介・小林大介・佐伯克己・杉村邦彦・高木昭好・高木克彦・竹村一幸・中村文明・西澤 賢・濱 毅・濱 俊弘・林広一郎・林 尚孝・林 裕彦・平沢清文・宮坂晃介・宮坂 伸・宮坂宥洪・宮澤由己・守屋麻里・矢島 進・矢島 貴・矢島 実・矢島雄一・山岡俊幸・山岸邦太郎・山崎典夫・小口 功 本日の卓話、国際ロータリー第2600地区ガバナー 桑澤一郎様、よろしくお願ひいたします。

出席報告

会員数50名、出席者44名、出席率88.0%



2021-2022 年度RIテーマ
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
SERVE TO CHANGE LIVES



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために